

2021 年 8 月 23 日

横浜ゴムのグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」装着車が SUPER GT 第 3 戦 GT300 クラスで 1 位から 6 位までを独占、 GT500 クラスで 3 位獲得

横浜ゴム（株）のグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」装着車が 2021 年 8 月 21 日から 22 日に鈴鹿サーキット（三重県）で開催された国内最高峰のツーリングカーレース「2021 AUTOBACS SUPER GT」第 3 戦の GT300 クラスで優勝したほか、6 位までを独占しました。また、GT500 クラスで 3 位入賞を果たしました。

GT300 クラスの優勝は Max Racing の「たかのこの湯 GR Supra GT（三宅淳詞選手／堤優威選手）」、2 位は JLOC の「JLOC ランボルギーニ GT3（小暮卓史選手／元嶋佑弥選手）」、3 位は GOODSMILE RACING & TeamUKYO の「グッドスマイル 初音ミク AMG（谷口信輝選手／片岡龍也選手）」が獲得しました。予選 3 位の「たかのこの湯 GR Supra GT」はトップで 24 周を終えてピットインし、ドライバーを交代。レース後半では「JLOC ランボルギーニ GT3」ともトップ争いを展開しましたが、38 周目にオーバーテイクしてその後はトップを独走しました。「グッドスマイル 初音ミク AMG」はレース終盤で 3 位に浮上しゴールしました。

「たかのこの湯 GR Supra GT」は Max Racing、両ドライバーにとって初めてとなる優勝を飾り、ドライバーランキング、チームランキングともにトップに躍り出たほか、「JLOC ランボルギーニ GT3」、「グッドスマイル 初音ミク AMG」はともに今シーズン初の表彰台を獲得しました。なお、ヨコハマタイヤ勢の GT300 クラスでの優勝は開幕戦に続き今シーズン 2 度目となります。

GT500 クラスでは KONDO RACING の「リアライズコーポレーション ADVAN GT-R（高星明誠選手／佐々木大樹選手）」が予選 4 位からスタート、25 周目に GT500 クラスで最後となるピット作業を終え 6 位で周回へ復帰。その後、前方を行く 3 台を抜き 3 位表彰台を獲得しました。なお、ヨコハマタイヤ勢にとっては今シーズン 2 度目の GT500 クラス表彰台となります。

横浜ゴムは 2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のタイヤ消費財事業において高付加価値商品の主力であるグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR」、そして「ウィンタータイヤ」の販売構成比率最大化を掲げています。その中で、モータースポーツ活動を技術開発および「ADVAN」「GEOLANDAR」ブランド強化の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまで国内外の多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦しています。



GT300 クラスで表彰台を独占したヨコハマタイヤ勢
左から元嶋選手と小暮選手（2 位）、三宅選手と堤選手（優勝）
谷口選手と片岡選手（3 位）



GT500 クラスで 3 位に入賞した
高星選手（左）と佐々木選手



GT300 クラスで優勝した「たかのこの湯 GR Supra GT」



GT300 クラスで 2 位となった「JLOC ランボルギーニ GT3」



GT300 クラスで 3 位となった「グッドスマイル 初音ミク AMG」



GT500 クラスで 3 位となった「リアライズコーポレーション ADVAN GT-R」

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570